

平成26年度

成田空港活用協議会総会  
議案書

平成26年5月26日(月)

## 目 次

議案第1号	平成25年度事業報告について・・・・・・・・	1
議案第2号	平成25年度収支決算について・・・・・・・・	10
議案第3号	平成26年度事業計画について・・・・・・・・	14
議案第4号	平成26年度収支予算について・・・・・・・・	20

## 平成25年度 事業報告

### 1 総括 ～振り返り～

#### ○ 官・民、幅広い主体の参加を得て「オール千葉」で設立

平成25年7月31日、企業や団体、県及び県内市町村等138の幅広い主体の参加を得て設立総会を開催し、ACTION (Activate Chiba's economy Through Intercity - expressway - network and Our Narita airport ～成田空港と圏央道等の高速道路網を活用した千葉県経済の活性化～) をキャッチフレーズに協議会の活動を開始した。(平成25年度末会員数150)

#### ○ 事業展開方針に基づき幅広く事業展開

- ・ 設立初年度においては、認知度を高めるため、協議会の理念や活動内容について広く発信するとともに、国内線就航先(札幌)向けのプロモーションや成田空港利用促進キャンペーンなど、積極的にPR活動を展開した。
- ・ 会員によるビジネス展開の基礎を築くため、「成田空港と圏央道の活用」や「MICE」をテーマとしたセミナー、成田空港の国内線利用動向に係る調査などを行い、会員にとって有意義なデータや知見の提供に取り組んだ。
- ・ 事業実施に当たっては、関係会員によるワーキンググループを編成し、会員同士の連携した取組の促進や会員間の新たなネットワークの形成を図ったほか、会員提案を取り入れたセミナーやイベントを開催するなど、会員のアイデアを活かした事業展開に努めた。

#### ○ 初年度の成果と今後に向けた課題

- ・ 初年度の事業計画に掲げた幅広い事業について、会員の協力・参画により着実に実施するとともに、メディアにも数多く取り上げられるなど、協議会の取組について、県内で一定の認知が得られた。今後は、県外や成田空港の国内線就航先においても、官民連携による本協議会の取組が認知されるように、就航先のメディアの活用を含めて取り組んでいく必要がある。
- ・ 初年度において、会員からの提案を活かした事業展開に努めたが、セミナーやイベントなど一部事業への取り込みに留まった。今後は、会員ニーズの一層の把握に努めるとともに、連携(コラボレーション)による「相乗効果の最大化」を目指して、さらなる会員の協力と参画を得ながら、会員のアイデアを活かした活動を展開していく。

## 2 事業の概要

### (1) プロモーション事業

#### ア 国内線就航先（札幌）向けプロモーション

##### ① 札幌における現地プロモーションの実施

成田空港国内線利用者の県内観光を推進するため、国内線就航先の札幌において、北海道の経済・観光団体等との意見交換会及び道民向けのPRイベントを実施した。

実施日：平成25年10月25日（金）・26日（土）

概要：

○ 意見交換会（10月25日：ホテル札幌ガーデンパレス）

テーマ：「空港を活用した経済・観光振興」

参加者：

・千葉県側（40名）

協議会会長 石井俊昭

千葉県副知事 諸橋省明 ほか協議会幹事団体 等

・北海道側（30名）

北海道商工会議所連合会会頭 高向巖

北海道経済連合会会長 近藤龍夫 ほか

○ PRイベント（10月26日：サッポロファクトリー）

テーマ：「あったか千葉へは、成田空港から！」

内容：ステージイベント

トークショー（出演：渡辺正行、岩本勉 ほか）

ブース出展（ナリタPRブース、観光PRブース）

来場者：1,500名

##### ② 北海道の旅行業者等を招へいしたモニターツアーの実施

北海道から本県への旅行商品の造成につなげるため、道内の旅行業者等を招へいし、早春の「ちばの魅力」のPRを行った。

実施日：平成26年3月6日（木）・7日（金）

行程：

（3月6日）

成田空港～成田山新勝寺～商談会・交流会（オークラアカデミアパーク）

(3月7日)

- ・ Aコース (観光)

随縁CC・館山CC～房総フラワーライン～道の駅とみうら枇杷倶楽部  
～酒々井プレミアム・アウトレット～成田空港

- ・ Bコース (教育旅行)

加曾利貝塚～千葉都市モノレール車庫見学・乗車体験  
～イオンモール幕張新都心～東京湾アクアライン(海ほたる)～羽田空港

## イ 海外向けプロモーション

国のビジット・ジャパン地方連携事業を活用し、神奈川県と共同して、香港向けに成田空港を起点としたレンタカーでのファムトリップを実施した。

実施日：平成26年2月17日(月)～19日(水)

(神奈川県を含む全行程：2月17日(月)～21日(金))

招聘者：香港旅行事業者7社7名

行程：

(2月17日)

成田空港～外国人観光案内所・レンタカーデスク案内～成田山新勝寺・  
成田山公園～ウェルカムレセプション

(2月18日)

鴨川シーワールド～マザー牧場(いちご狩り体験)～商談会・意見交換会・  
交流会

(2月19日)

三井アウトレットパーク木更津～香港招へい者運転体験～海ほたる(昼食)  
～(神奈川県)

## ウ ビジネスプロモーション

千葉県企業誘致セミナー会場に設けられたブースにおいて、協議会、成田空港及びエアライン、交通アクセス事業者、会員市町村内に所在する工業団地等のPRを行った。

実施日：平成25年10月18日(金)

会場：東海大学学友会館霞が関ビル35F

## (2) 空港利用促進事業

### ア 利用促進キャンペーン

首都圏の自動車ユーザーを対象に、充実する成田空港国内線ネットワークや空港アクセスの利便性向上についてPRキャンペーンを展開した。

実施日：平成26年2月22日（土）～3月22日（土）

場 所：Pasar 幕張（下り線）、酒々井プレミアム・アウトレット、  
海ほたるパーキングエリア、三井アウトレットパーク木更津、  
成田空港

実施内容：

- 上記各施設へのPRブースの設置
- 各施設を巡るスタンプラリー
- キャンペーンに併せたメディアを活用したPRの展開

### イ 空港内PRイベント

成田空港の航空旅客をはじめとする空港利用者をターゲットに、県内の各地域の食材を活かしたスイーツのPRと、地域の観光関連情報の発信を目的とした空港内PRイベントを実施した。

実施日：平成26年3月29日（土）

場 所：成田空港第1ターミナル南ウイング4F国際線出発階

出展者：11団体（銚子市、成田市、佐倉市、旭市、八街市、香取市、  
酒々井町、栄町、芝山町、横芝光町、千葉県及び事業者）

※ ご当地キャラクター13体出演

### (3) 調査・広報事業

#### ア 外客受入体制整備セミナー

企業等の会議や研修旅行、国際会議や見本市などビジネスイベント等の総称であるMICEについての意義や経済効果等についてのセミナーを開催した。

※MICEとは:Meeting、Incentive travel、Convention、Event/Exhibitionの頭文字

実施日：平成26年2月10日（月）

会 場：三井ガーデンホテル千葉

内 容：

- 基調講演「MICEの効果・千葉の魅力」

講師：レイ・コプチンスキ

（ちば国際コンベンションビューローMICEアンバサダー）

- パネルディスカッション「MICEをチャンスに」

・パネリスト

内田浩行（観光庁参事官）

葛丈夫（ちば国際コンベンションビューローMICE事業部長）

早川康一（千葉インバウンド促進協議会会長）

レイ・コプチンスキ

・コーディネーター 田部井正次郎（城西国際大学講師）

参加者：101名

#### イ ビジネスセミナー

成田空港国内線の利用動向調査報告会と成田空港及び圏央道の活用によるビジネス創出をテーマとした経済活性化セミナーを会員の事業提案を取り入れ開催した。併せて、成田空港を起点としてバスで圏央道を実際に走る体験プログラムも実施した。

実施日：平成26年2月3日（月）

場 所：茂原市役所市民室（ホール）

内 容：

- 協議会会長あいさつ

- 茂原市長あいさつ

○ プレゼンテーション

① 『成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者の動向』

(株ちばぎん総合研究所)

② 空港と圏央道の活用事例

『圏央道活用による茂原市の取り組み』(茂原市経済環境部商工観光課)

『なぜ茂原市に進出したのか』(株ジャパンディスプレイ)

参加者：113名

## ウ 航空旅客利用動向調査

県内の観光・産業振興等の取組に幅広く活用するため、成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査を実施した。

[調査の内容]

○ 調査期間：平成25年10月12日(土)～13日(日)

○ 調査方法：インターネットによるウェブ・アンケート調査

○ 調査対象者：全国の15歳以上の男女5,500人

うち成田空港国内線利用実績あり 4,000人

うち成田空港国内線利用実績なし 1,500人

○ 調査項目：

・成田空港国内線の利用実績あり

国内線利用状況、県内での消費動向(訪問地・目的・時期日数・再訪意向等)、  
2次交通の利用状況等

・成田空港国内線の利用実績なし

国内線の認知度や今後の利用意向(利用する場合の条件や目的等)

## (4) 要望活動

成田空港の利便性向上のため、県内の関係団体とともに首都圏中央連絡自動車道建設促進に関する要望活動を国等関係先に対して行った。

実施日：平成25年11月22日(金)

要望先：国土交通大臣、副大臣、政務官ほか国土交通省幹部職員  
及び県選出国會議員

同時に要望した関係団体：

首都圏中央連絡自動車道促進期成同盟会

千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟

首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

## (5) 平成25年度における会員からの提案事業

### ① 提案事業の募集

空港を活用した事業展開についてのアイデアを募り、会員の連携・協働による事業展開をサポートすることで、個別の企業・団体では取り組むことが困難であった取組を事業化につなげることを目的とし、会員から提案事業を募集した。

募集期間：平成25年9月9日（月）～10月4日（金）  
（12月末まで延長）

提案件数：

① 具体的事業の提案件数 総数42件（提案会員数18）

（主な提案内容）

- ・ 県内誘客・周遊ツアーについての提案
- ・ 空港利用促進・観光キャンペーンに係る提案
- ・ 空港内でのPRイベントに関する提案 等

② 自由意見件数 総数16件（提案会員数12）

### ② 提案事業の検討・具体化（平成25年度事業への取り入れ）

平成25年度事業計画に位置付けられている以下の事業に、会員アイデア・ニーズを取り入れて実施した。

- ・ 第1回県内経済活性化ビジネスセミナー（成田空港と圏央道の活用）  
会員からの企業誘致関連セミナーの共同開催の提案を取り込み実施。
- ・ 空港内PRイベント（「Chiba Sweets Collection in Narita Airport」）  
会員からの空港内でのスイーツの試食を通じた地域産品・観光・マスコットキャラクターPRの提案を取り込み実施。

## (6) 広報活動

設立総会や運営説明会、各種事業の実施にあたっては、県政記者会をはじめとする関係記者クラブ等に対し積極的にプレスリリースを実施し、新聞、テレビ、ラジオなど報道関係者への情報提供を行った。

また、協議会の活動についての認知度向上のため、協議会のホームページやツイッターを活用して、会員への情報提供を行うとともに、各種メディアへの広告等の掲載や、情報誌・協議会パンフレット・ポスター・ノベルティ等を作成し、プロモーションやセミナー等において配布した。

## (参考) 会議等の開催状況

### (1) 設立総会

- 期 日：平成25年7月31日（水）  
場 所：京成ホテルミラマーレ  
議 題：① 設立趣意書（案）について  
② 成田空港活用協議会規約（案）について  
③ 役員を選出について  
④ 平成25年度事業計画（案）について  
⑤ 平成25年度予算（案）について

### (2) 幹事会

#### 【第1回】

- 期 日：平成25年7月31日（水）  
場 所：京成ホテルミラマーレ  
議 事：① 幹事長の選任について  
② 幹事会等の運営について  
③ 平成25年度実施事業について（事業採択）  
・国内線就航先（札幌）プロモーション事業の実施  
・千葉県企業誘致セミナーとの連携事業の実施  
・成田空港国内線利用動向調査の実施  
・協議会運営説明会・交流会の実施

#### 【第2回】

- 期 日：平成25年9月2日（月）  
場 所：千葉県経営者会館2F会議室  
議 事：① 協議会運営について  
② 平成25年度実施事業について（事業採択）  
・成田空港国内線利用動向調査の実施  
・レンタカーを活用した香港プロモーション事業の実施

#### 【第3回】

- 期 日：平成25年9月27日（金）（書面による事業採択）  
内 容：平成26年度レンタカーを活用した香港プロモーション事業の応募

#### 【第4回】

- 期 日：平成25年11月18日（月）  
場 所：千葉県経営者会館2F会議室  
議 事：① 会員からの事業提案状況及び今後の取り扱い（案）について  
② 平成25年度事業実施について（事業採択）  
・MICEセミナーの実施  
・成田空港利用促進キャンペーンの実施  
・国内線利用動向及び来県者動向に係る調査報告会（仮称）の実施  
・首都圏中央連絡自動車道建設促進に係る要望

**【第5回】**

期 日：平成26年1月22日(水) (書面による事業採択)  
内 容：空港内PRイベントの実施

**【第6回】**

期 日：平成26年3月26日(水)  
場 所：千葉県経営者会館2F会議室  
議 事：① 平成25年度事業報告・決算(見込み)について  
② 平成26年度事業計画・予算案について  
③ 会員からの事業提案の取り扱いについて

**(3) その他会議**

**【運営説明会】**

期 日：平成25年9月9日(月)  
場 所：オークラ千葉ホテル  
内 容：① 平成25年度協議会事業について  
② 部会運営について  
③ 事業提案制度について

**【部会スタッフ会議】**

期 日：平成25年12月18日(水)  
場 所：千葉県庁本庁舎9F総合企画部会議室  
内 容：① 事業提案制度について  
② 部会スタッフ会議について  
③ 今後の取扱いについて

**【幹事団体実務担当者会議】**

期 日：平成26年1月22日(水)  
場 所：千葉県経営者会館2F会議室  
内 容：① 事業提案の取り扱いについて  
② 平成26年度事業計画・予算案について

## 平成25年度 収支決算

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

## 【収入の部】

(単位：円)

科目	予算額 (①)	決算額 (②)	差引き (②-①)	摘要
1. 負担金	46,700,000	46,700,000	0	
2. 会費	7,300,000	7,950,000	650,000	会員数の増加
合計	54,000,000	54,650,000	650,000	

## 【支出の部】

(単位：円)

科目	予算額 (①)	予備費充当・ 事業間振替額 (②)	最終予算額 (①+②)	決算額 (③)	差引き (①+②-③)	摘要
1. 運営費	13,500,000	0	13,500,000	13,064,958	435,042	
(1) 人件費	9,500,000	0	9,500,000	8,874,486	625,514	事務局職員給与、 諸手当等
(2) 管理費	3,000,000	0	3,000,000	3,270,642	△270,642	賃室料、備品・ PCリース代等
(3) 事務費	1,000,000	0	1,000,000	919,830	80,170	印刷費、電話代等
2. 活動費	31,500,000	3,550,000	35,050,000	34,597,550	452,450	
(1) プロモーション活動費	16,000,000	△746,000	15,254,000	14,982,132	271,868	
国内線就航先向け プロモーション	14,000,000	0	14,000,000	13,770,112	229,888	委託費等 (札幌プロモーション)
海外向け プロモーション	1,000,000	250,000	1,250,000	1,208,200	41,800	ビジット・ジャパン地方連携 事業(観光庁)
ビジネス プロモーション	1,000,000	△996,000 ※ビジネスセミナーへ振替	4,000	3,820	180	企業誘致関連
(2) 空港利用促進費	9,000,000	2,550,000	11,550,000	11,546,913	3,087	
利用促進 キャンペーン	6,000,000	2,400,000	8,400,000	8,400,000	0	委託及びPR 媒体作成費等
空港内 PR イベント	3,000,000	150,000	3,150,000	3,146,913	3,087	委託費等
(3) 調査・広報費	4,500,000	1,746,000	6,246,000	6,263,264	△17,264	
外客受入体制 整備セミナー	1,000,000	600,000	1,600,000	1,528,264	71,736	会場費、同時 通訳関連費等
ビジネスセミナー	500,000	996,000	1,496,000	1,585,000	△89,000	セミナー委託 費、講師料等
航空旅客 利用動向調査	3,000,000	150,000	3,150,000	3,150,000	0	調査委託費等
(4) 事業調整費	2,000,000	0	2,000,000	1,805,241	194,759	旅費、会場費等
3. 予備費	9,000,000	△3,550,000	5,450,000	2,089,500	3,360,500	
(1) 予備費	9,000,000	△3,550,000	5,450,000	2,089,500	3,360,500	ポスター・パンフ レット製作費等
合計	54,000,000	0	54,000,000	49,752,008	4,247,992	

※ 予備費充当・事業間振替額は、事業採択において幹事会に諮り、承認を得たものである。

## 【収支差額の部】

(単位：円)

科目	決算額	摘要
収入の部	54,650,000	
支出の部	49,752,008	
収支差額	4,897,992	

※ 平成 25 年度の収支差額については、全額を平成 26 年度に繰り越して用いる。

平成25年度 成田空港活用協議会監査結果について

平成25年度成田空港活用協議会決算について、平成26年4月22日  
に監査したところ、適正に執行されていると認める。

平成26年4月22日

成田空港活用協議会

監事

江島 敬一 

平成25年度 成田空港活用協議会監査結果について

平成25年度成田空港活用協議会決算について、平成26年4月23日  
に監査したところ、適正に執行されていると認める。

平成26年4月23日

成田空港活用協議会

監事

Handwritten signature and red seal of the auditor.

## 平成26年度 事業計画

### 1 事業展開方針

成田空港を活用した本県経済の活性化に向け、会員の熱意・エネルギーを引き出し、取り込みながら、幅広い事業展開を図ることで、経済波及効果やPR効果等の最大化を目指していく。

#### ○ 初年度で得られた成果や課題等をふまえて展開

- ・ 相互交流への発展を視野に入れた国内線就航先へのプロモーション
- ・ 認知度やPR効果の向上に向けたメディア・各種広報媒体の積極的活用
- ・ 会員の関心・課題意識をビジネス創出へとつなげるセミナー等の実施など、初年度の取組を基盤として各種事業を展開。

※ 特に、国内線の利用動向等に係る調査データや、データ分析により得られた知見を、観光客誘致や空港利用促進に向けて幅広く活用していく。

#### ○ 新たな取組・アプローチにも積極的に挑戦

- ・ 初年度の県内での実施に加え、県外での空港利用促進活動の展開（利用者の拡大・取り込みに向け、ターゲット（エリア・顧客層等）を意識して実施）
- ・ “ナリタファン”の拡大に向けた会員提案アイデア、学生の視点等の活用
- ・ 国際空港としての優位性を本県への外客誘致へつなげる海外向けの情報発信などにより、成田空港を中心とした人の流れを創出・拡大。

#### ○ 事業展開にあたって会員等のアイデア・ノウハウを最大限活用

- ・ 企画段階からの会員参画による事業の実現、さらなる協業の推進（3つのコンセプト（コラボレーション・パートナーシップ・シェアリング）の会員間での共有、事業におけるコンセプトの具現化）
- ・ 会員・関連組織による広報・プロモーションと協議会事業の連携・連動などにより、会員が積極的に参画・提案できるような場・機会を提供。

## 2 事業内容

### (1) 誘客促進事業

#### ア 国内線就航先向けプロモーション【継続】

国内線利用者の県内観光を推進するため、就航先向けに「ちばの観光」や「成田空港の利便性向上」等のプロモーションを実施する。(就航先でのPR効果をより高めるため、メディアを積極的に活用してプロモーションを展開する。)

[事業内容 (骨子・イメージ)]

- ・ 就航先でのプロモーション  
(集客施設でのイベント開催、経済・観光関係団体等との交流・意見交換 等)
  - \* 会員団体・関連組織、就航先の団体との連携を密にした共同プロモーションを検討・実施
- ・ 就航先メディアを活用した取組 (新規)  
(地元テレビや新聞・業界紙、情報誌等を活用したPR・情報発信 等)
  - \* 国内線の認知度向上等に向けたメディア露出を展開

※ 平成25年度事業により得られた、北海道側の経済・観光関係団体とのつながりを、成田路線の利用拡大に向けた連携・協力へと発展させていくため、引き続き北海道向けの取組を中心として展開する。

※ 北海道以外の就航先においても、事業展開(就航先でのプロモーション・情報発信等)の可能性を検討していくため、就航先の空港利用促進団体等との関係構築に向けた取組を進めるとともに、就航先団体との共同事業についても、積極的に検討・展開していく。

#### イ 海外向けプロモーション【継続】

日本最大の国際空港である成田空港を擁する本県の優位性を活かして、インバウンドによる県内観光を推進するため、新たに近隣アジア諸国向けに現地旅行業者等への情報発信を積極的に行うほか、継続事業として、香港から旅行業者及び新たにメディアを招聘し、本県への誘客を図っていく。

#### ○ 現地旅行業者等への情報発信 (新規)

近隣アジア諸国の現地旅行業者等に対し、観光・交通関係会員等によるインバウンド向けの取組や施設情報等を、関連組織との協業のもと協議会が情報発信を行うことで、誘客促進に向けたマッチング機会の拡大を図る。

[事業内容（骨子・イメージ）]

- ・現地旅行者（見本市含む）へのPR活動
  - ・会員の営業ツール・商材を活用した現地での営業活動  
（観光関連事業者・団体が行うキャンペーン・イベントに共同参画）
- \* インバウンド誘致に向けた単独での情報発信が難しい会員をサポート

## ○ 現地旅行者等の招へい事業（継続）

観光庁のビジット・ジャパン地方連携事業を活用し、神奈川県側と共同で、成田空港を起点としたレンタカーによるファムトリップを香港向けに実施する。

[事業内容（骨子・イメージ）]

- ・平成25年度に引き続き、現地旅行者を招へいして実施
- ・上記に加え、現地メディアを招へいして実施（新規）

## （2）空港利用促進事業

### ア 利用促進キャンペーン【継続】

“OUR AIRPORT”（私たちの空港）として、成田空港をより積極的に利用してもらえるよう、成田空港の利便性やアクセス向上をPR・発信する利用促進キャンペーンを展開する。

[事業内容（骨子・イメージ）]

- ・県外（首都圏・北関東など）に向けた広告・イベント展開
  - ・県内（県民・県内企業・団体等）向けのPR・情報発信
  - ・メディアを活用したPR・情報発信 等
- \* 会員団体や関連組織との連携を密にした共同プロモーションを検討・実施

## イ ナリタファンの拡大に向けた情報・魅力発信【新規】

成田空港をより身近な存在として認識してもらい、幅広く“ナリタファン”の拡大へとつなげていくため、会員が有するノウハウ・専門的な知見や、学生がもつ柔軟な視点・アイデアを取り込んだ、訴求効果の高い情報発信を行う。

[事業内容（骨子・イメージ）]

“ナリタファン”の拡大に資する事業の萌芽（\*）を、会員の協力・参画を得ながら事業化を図っていく。

\* 会員提案事業（空港の利用促進、空港への来訪者の増加等に係るもの）

[取組例（平成25年度会員提案事業より得られたアイデアの一例）]

- ・ 県内のマスコットキャラクターを活用した空港内での地域観光情報の発信
- ・ 国内線利用者の家族等、就航先潜在ユーザーへの情報発信による需要喚起 等

→ 官・民、幅広い業種からなる協議会の強みを活かし、会員のノウハウ・専門性を積極的に引き出し、事業の熟度・実現可能性を高めていく。

\* 学生の視点・アイデア（県内の大学、専門学校等との連携）

[取組例]

- ・ 空港のブランドイメージ向上に資するビジュアル等の製作
- ・ 空港をコースに取り入れた旅行ルートの開発 等

→ 既成概念にとらわれない若年層の柔軟な感性を取り入れ、事業の波及効果を広げていく。

※ 企画検討段階からの会員マスコミの参画など、取組自体について積極的にメディア露出を図り、幅広い世代・地域において興味・関心を広げていく。

### (3) ビジネス支援事業

#### ア 経済活性化セミナー【継続】

成田空港を活用したビジネスの創出に向け、会員のニーズや関心等をふまえ、会員や会員が連携した取組に資するセミナー等を開催する。

##### ○ 外客受入体制関係

東京オリンピック・パラリンピック開催決定という好機・商機を逃さず、本県経済の活性化に着実に結びつけるため、インバウンドによる県内観光の増加や定着、外国からのMICE関連客の県内引き込みに向けた関係者の理解・意識の醸成、取組の推進に資するセミナー等を開催する。

[事業内容（骨子・イメージ）]

- ・ 県内観光地・観光施設等におけるインバウンドの受入状況について
- ・ 外国人客受入の際に配慮すべき習慣、文化、嗜好等について
- ・ MICE誘致に向けた地域での連携・協力した取組について 等

※ 県内全体での意識の醸成を図るため、会員団体・関係組織との連携・協力のもと、テーマや開催地を検討していく。

##### ○ 観光・産業振興関係

成田空港や圏央道等の高速道路網を活用した観光・産業振興等の取組を、空港周辺のみならず、県内の各地域に広げていくため、ビジネスチャンス  
の発見・拡大、会員の意識の向上に資するセミナー等を開催する。（会員  
ニーズをふまえ、テーマや開催地・開催規模等を柔軟に設定する。）

[事業内容（骨子・イメージ）]

- ・ 成田空港から県内への観光客誘致・県内周遊の促進に向けて
- ・ 航空物流を活用したビジネス展開の可能性について
- ・ 農産物等の輸出による海外事業展開について 等

※ 会員が具体的に活用できるよう、会員企業等の実例をふまえた実践的な内容としていくほか、会員間での問題意識の共有による連携促進を図るため、国内線の利用状況と来県者動向に係る調査結果や既存調査のデータ等を踏まえたワーキンググループ（勉強会）を開催する。

## イ マーケットリサーチ【継続】

会員による県内の観光・産業振興等の取組に幅広く活用するため、会員の関心・課題意識が高いテーマについて調査を実施する。

[事業内容（骨子・イメージ）]

- ・ 県内観光地・観光施設等におけるインバウンド受入状況
- ・ 県内観光の推進に向けたインバウンドの各種ニーズ・消費動向の把握（食・体験等に係る興味・関心、移動・宿泊等に係るコスト意識 等）

※ 空港周辺での周遊促進のみならず、東京オリンピック・パラリンピックに向けた県内全体での受入体制整備に資するよう、調査内容を検討していく。

※ 経済活性化セミナーとの連動を視野に入れて調査内容を検討・実施していく。

### （４）要望活動【継続】

成田空港の利便性向上のため、関連団体とも連携しながら、国等関係機関に対する要望を実施する。

### （５）会員提案事業の検討・実施【継続】

平成25年度に引き続き、会員からの事業提案を募り、検討・実施していくほか、前年度の提案事業については、関心の近い会員を中心として、意見交換や事業化に向けた課題・可能性等について検討を進めることなどにより、会員が連携した取組につなげていく。（会員のニーズをふまえ具体化していく。）

### （６）その他

- 協議会の活動を広報するため、各種媒体の積極的な利用やプレスリリースを展開するとともに、会員向けにメールニュース等による情報発信を行い、会員間において活動状況や成果の共有を図る。
- 会員企業・団体等の広報媒体の活用や、会員が主催するイベント等への協賛・後援等によるPR活動等、会員による広報・プロモーションと連携・連動した取組について、会員のニーズをふまえ具体化していく（新規）。
- 成田空港の利用促進に向けて、会員企業・団体による積極的な空港利用を促す取組を検討していく（新規）。

議案第4号

平成26年度 収支予算

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

【収入の部】

(単位：千円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減額	摘要
1. 負担金	46,700	46,700	0	別紙内訳のとおり
2. 会費	8,250	7,300	950	1口50千円
3. 諸収入	0	0	0	
4. 繰越金	4,897	0	4,897	
合計	59,847	54,000	5,847	

【支出の部】

(単位：千円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減額	摘要 (○印は新規・△印は廃止事業)
1. 活動費	35,000	31,500	3,500	
(1) 誘客促進費	16,000	16,000	0	・ 国内線就航先向けプロモーション 12,000(◎14,000) ・ 海外向けプロモーション 4,000(◎1,000) △ビジネスプロモーション (◎1,000)
(2) 空港利用促進費	9,000	9,000	0	・ 利用促進キャンペーン 6,000(◎6,000) ○ ナリタファンの拡大に向けた情報・魅力発信 3,000(皆増) △ 空港内PRイベント (◎3,000)
(3) ビジネス支援費	7,000	4,500	2,500	・ 経済活性化セミナー 4,000(◎1,500) ・ マーケットリサーチ 3,000(◎3,000)
(4) 活動共通費	3,000	2,000	1,000	旅費、会議費、広報宣伝費(パンフレット・ポスター 作成費・その他広告費)等
2. 運営費	15,800	13,500	2,300	
(1) 人件費	11,500	9,500	2,000	事務局職員給与、諸手当等 (職員1名増)
(2) 管理費	3,300	3,000	300	事務所賃料、事務機器リース料等
(3) 事務費	1,000	1,000	0	消耗品費、印刷製本費、手数料等
3. 予備費	9,047	9,000	47	
(1) 予備費	9,047	9,000	47	会員提案事業や活動費等に充当
合計	59,847	54,000	5,847	

(備考) 千葉県負担金は、活動費に充当する。

[発起人団体]

千葉県

成田国際空港株式会社

成田市

千葉県経済同友会

一般社団法人千葉県経済協議会

一般社団法人千葉県経営者協会

一般社団法人千葉県商工会議所連合会

千葉県商工会連合会

千葉県中小企業団体中央会

東日本旅客鉄道株式会社千葉支社

京成電鉄株式会社

一般社団法人千葉県バス協会

一般社団法人千葉県タクシー協会

公益社団法人千葉県観光物産協会

[市町村会員]

■ 3口 (15万円)

富里市	栄町	芝山町
香取市	神崎町	横芝光町
山武市	多古町	

■ 1口 (5万円)

千葉市	鴨川市	酒々井町
銚子市	鎌ヶ谷市	東庄町
館山市	君津市	九十里町
木更津市	富津市	一宮町
松戸市	四街道市	睦沢町
茂原市	袖ヶ浦市	長生村
佐倉市	八街市	白子町
東金市	印西市	長柄町
旭市	白井市	長南町
柏市	南房総市	大多喜町
勝浦市	匝瑳市	御宿町
市原市	いすみ市	鋸南町
我孫子市	大網白里市	

[企業・団体会員]

■ 2口（10万円）

(株) 千 葉 銀 行

千 葉 テ レ ビ 放 送 (株)

(株) ちばぎん総合研究所

(株) 千 葉 日 報 社

(株) 京 葉 銀 行

(株) ベ イ エ フ エ ム

(株) 千 葉 興 業 銀 行

■ 1口（5万円）

アイベックスエアラインズ(株)

近畿日本ツーリスト(株)  
首都圏千葉団体旅行支店

(株) 秋 葉 牧 場  
(成田ゆめ牧場)

(株) グランビスタ ホテル&リゾート  
鴨川シーワールド

阿 部 建 設 (株)

(株) グリーンポート・エージェンシー

(株) 飯 沼 本 家

京成トラベルサービス(株)

イ オ ン (株)

京 成 バ ス (株)

泉観光バス(株)千葉営業所

(公財)航空科学博物館

(株) エ コ ニ カ ル

国 際 空 港 上 屋 (株)

(株) N A A リ テ イ リ ン グ

国 際 空 港 交 通 (株)

(株) エム・アイ・エス・インターナショナル

小 湊 鉄 道 (株)

(株) オリエントラルランド

N P O 法 人 栄 町 観 光 協 会

(株) かずさアカデミアパーク

(株) 坂 戸 工 作 所

(株) 鐘 木 商 会

三 栄 メ ン テ ナ ン ス (株)

(株) 北 四 国 産 業

参 光 タ ク シ ー (株)

株式会社JTBコーポレートセールス

千葉県レンタカー協会

ジェットスター・ジャパン株式会社

株式会社千葉交タクシー

旧(有)芝山タクシー  
新松崎交通株式会社

千葉県交通株式会社

芝山鉄道株式会社

千葉県構内タクシー株式会社

春秋航空日本株式会社

(公財)ちば国際コンベンションビューロー

NPO法人 成田空港ボランティア  
スカイレッツ

千葉県商工会議所

全国農業協同組合連合会  
千葉県本部

千葉県中央バス株式会社

全日本空輸株式会社 成田空港支店

千葉県トヨペット株式会社

株式会社 相 互

塚本総業株式会社

太平洋総合開発株式会社

株式会社 ティエフケー

ダイユウホーム株式会社

東京ガス株式会社 千葉支社

千葉県ガス株式会社

東京空港交通株式会社

(一財)千葉県勝浦海中公園センター

株式会社トヨタレンタリース新千葉

千葉県ゴルフ協会

株式会社トヨタレンタリース千葉

千葉県市町村職員共済組合  
オークラ千葉ホテル

成田空港交通株式会社

千葉県酒造組合

成田空港レンタカー協議会

千葉県酒類販売株式会社

大本山成田山新勝寺

千葉県貿易協同組合

(一社)成田市観光協会

千葉県旅館ホテル  
生活衛生同業組合

成田商工会議所

千葉県レクリエーション都市開発株式会社  
(蓮沼海浜公園・犬吠埼ホテル等)

成田タクシー株式会社

成田地区ホテル業協会

北総鉄道(株)

日東交通(株)

(株)幕張メッセ

日本航空(株)

(株)マザー牧場

(株)日本旅行千葉支店

三田下総交通(株)

(公財)ニューフィルハーモニー  
オーケストラ千葉

三井不動産(株)

ビー・トランセホールディングス(株)

(株)三越環境ビル管理  
(千葉ポートタワー)

東日本高速道路(株)  
関東支社千葉管理事務所

三菱地所・サイモン(株)  
酒々井プレミアム・アウトレット

東日本電信電話(株)  
千葉支店

明和興産(株)東京ドイツ村事業部

平山建設(株)

(株)メディアポート成田

福井電機(株)

ユアサ・フナシヨク(株)

船橋交通(株)

郵船ロジスティクス(株)

(株)プロロジス

米屋(株)

県立房総のむら

■ 会員数合計 158

[内訳]

発起人団体 … 14

市町村 … 46

※発起人団体である成田市を除く

企業・団体 … 98

## 成田空港活用協議会役員及び幹事一覧

### 役員

会長	石井 俊昭（県商工会議所連合会会長）
特別顧問	森田 健作（知事）
副会長	佐久間□利（県経済同友会代表幹事）
〃	花田 力（県経済協議会会長／県経営者協会会長）
〃	小泉 一成（成田市長）
〃	夏目 誠（成田国際空港(株)代表取締役社長）
監事	花島敬一郎（県商工会連合会会長）
〃	坂戸 誠一（県中小企業団体中央会会長）

### 幹事

県商工会議所連合会専務理事、県経済同友会事務局長、県経済協議会専務理事、

県経営者協会専務理事、県商工会連合会専務理事、県中小企業団体中央会専務理事、

成田国際空港(株)経営計画部長、千葉県空港地域振興課長、成田市観光プロモーション課長、

（株）ちばぎん総合研究所受託調査部長〔経済活性化部会長〕

県観光物産協会専務理事〔プロモーション部会長〕

ちば国際コンベンションビューロー事務局長〔プロモーション部会副部会長〕

成田空港活用協議会  
平成 25 年度 事業報告  
(資料編)

(1) プロモーション事業

ア. 国内線就航先向けプロモーション

## 国内線就航先（札幌）プロモーション事業

北海道民に「ちばの観光」・「成田空港の利便性」の魅力をもPRしていくため、成田空港国内線就航先の札幌にて、北海道経済・観光団体等の意見交換会（平成25年10月25日（金））及び道民向けPRイベント（同年10月26日（土））を開催した。また、新たな旅行商品の造成に向けて、北海道から旅行事業者等を招へいし、観光・ゴルフ・教育旅行をテーマとした県内モニターツアーを平成26年3月6日（木）～7日（金）に実施した。



千葉県側



北海道側

[展開]

○札幌でのプロモーション（平成25年10月25日～26日）

(1) 意見交換会

- 観光だけでなく、スポーツ、文化、産業など様々な分野において北海道と千葉県双方の官民が連携した交流を深めるため、プレゼンテーション、意見交換会、交流会を開催。今後、北海道側と相互交流に向けた取り組みを推進。

《出席者》

■千葉県側 40名

石井会長（県商工会議所連合会長）

諸橋副知事（※森田知事台風対応のため代理出席）

他 活用協議会幹事団体及び会員企業

■北海道側 30名

高向 巖（北海道商工会議所連合会頭）

近藤龍夫（北海道経済連合会長）

北山憲武（北海道観光振興機構専務理事）

山本邦彦（北海道空港(株)代表取締役社長）

他 北海道経済団体、旅行事業者及び道庁関係者

《北海道側からの主な意見等》

- 相互の連携、情報交換、共同プロモーションなどお互いに助け合う方向で  
ご尽力いただきたい。北海道と成田空港の関係は非常に重要で、ここに北海道  
の活性化がかかっている。
- 成田空港の国内線を利用したゴルフツアーや修学旅行といった相互の交流が可  
能ではないか。

(2) 道民向けPRイベント

- “あったか千葉へは、成田空港から！”をキャッチフレーズに、本県出身のタレ  
ント渡辺正行さんら著名人によるステージイベントや、協議会会員のブース出展  
により「ちばの観光」と「成田空港の利便性」の魅力をPR。(来場者 1,500名)
- イベントの事前告知として、人気情報誌サイトなどでのWEB告知や札幌市内の  
地下鉄での交通広告、地元テレビ局へのPRキャラバン隊の出演などを実施。



会場の様子



ステージイベント



出展ブース①



出展ブース②



地下鉄車内に掲示された交通広告

○ 県内でのモニターツアー（平成26年3月6日～7日）

- 北海道から旅行事業者13社を招へいし、2日間で「観光・ゴルフ」及び「教育旅行」をテーマとした2コースにより県内を視察し、千葉の魅力をPR。
- 併せて、県内観光施設・宿泊事業者等32社との商談会を実施し、今後のツアー造成につなげていく。

● 行程：

(3月6日) 成田空港～成田山新勝寺～商談会・交流会

(3月7日)

観光・ゴルフ：随縁CC・館山CC～房総フラワーライン～道の駅とみうら  
枇杷倶楽部～酒々井プレミアム・アウトレット～成田空港

教育旅行：加曾利貝塚～千葉都市モノレール車庫見学・乗車体験～イオンモール  
幕張新都心～東京湾アクアライン（海ほたる）～羽田空港



商談会の様子



交流会の様子



道の駅とみうら枇杷倶楽部の見学



モノレール車庫の見学

## [会員の参画] 43 団体

イオン(株)、(株)かずさアカデミアパーク、京成電鉄(株)、京成バス(株)、(株)JTBコーポレートセールス、ジェットスター・ジャパン(株)、芝山鉄道(株)、全日本空輸(株)成田空港支店、(株)ちばぎん総合研究所、(公社)千葉県観光物産協会、(一社)千葉県経営者協会、千葉県経済同友会、千葉県ゴルフ協会、千葉県酒造組合、(一社)千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会、(一社)千葉県タクシー協会、(一社)千葉県バス協会、千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合、千葉県レンタカー協会、千葉交通(株)、(公財)ちば国際コンベンションビューロー、千葉テレビ放送(株)、東京空港交通(株)、成田空港交通(株)、成田空港レンタカー協議会、成田国際空港(株)、大本山成田山新勝寺、成田地区ホテル業協会、日東交通(株)、日本航空(株)、ビー・トランセホールディングス(株)、東日本旅客鉄道(株)千葉支社、(株)マザー牧場、三菱地所・サイモン(株)、(株)メディアポート成田、米屋、千葉県、千葉市、成田市、南房総市(南房総観光連盟)、香取市(北総観光連盟)、芝山町(九十九里観光連盟)

## [メディアへの露出]

- 新聞 時事通信(10月25日)  
共同通信(10月25日)  
千葉日報(10月26日)  
北海道新聞(10月26日)  
日本経済新聞(10月26日)  
※その他、業界紙にも多数掲載有り。  
読売新聞(3月7日)
- テレビ 北海道テレビ(10月26日)  
千葉テレビ(10月28日)

## [総括]

- 札幌におけるプロモーションは協議会の設立初年度の主要事業として実施。
- 協議会の特色である「経済活性化」という視点も反映させ、北海道の主な経済団体のトップの参加のもと、千葉と北海道との間で「意見交換会」を開催できたことは大きな成果であった。
- イベント会場では、普段、なかなか同じ立場でPRすることが難しい事業者同士が連携して「ちばの観光」や「成田空港のアクセス・利便性の向上」について、PRできたことは、協議会の特色といえる。
- 一方で、会場設定、ブース展開その他、PRイベントにおいては、事務局としての十分なコントロール機能が発揮できない点もあった。
- イベントの周知や千葉の観光等のPRに関して、現地マスメディアへのアプローチについて更なる工夫が必要である。
- 道側からの相互交流の提案を今後につなげていくことが重要である。

## イ. 海外向けプロモーション

### レンタカーを活用した香港プロモーション事業

個人旅行者が増えつつある香港から旅行会社を招へいし、レンタカーを活用した成田空港発のツアー商品造成を目指すため、国土交通省関東運輸局・神奈川県と連携しながら、県内観光施設等を紹介するモニターツアーを平成26年2月17日（月）～19日（水）に実施した。

※本事業は、国の「平成25年度ビジット・ジャパン地方連携事業」として実施



歓迎レセプション（2月17日）



商談会（2月18日）



商業施設見学（2月19日）



レンタカーデモ

#### [展開]

- 本事業は、滞在日数の比較的長い外国人個人旅行者のニーズに即した誘客を実現するため、成田空港やアクアライン等のインフラ基盤を活かし、千葉県と神奈川県との広域連携プロモーション活動の一環として実施。
- 千葉の食、ショッピング、観光施設、体験プログラムなどを組み合わせ、個人の自由な旅行でしか楽しむことができない個人旅行者向けドライブコースを作成し、香港の旅行会社にコースの取材、体験をしてもらうことで旅行商品の造成を目指して実施。（香港側招へい社：7社）

【2月17日（月）】 15:00  18:00	成田空港着 外国人観光案内所・レンタカーデスク案内 成田山新勝寺・成田山公園（見学） ウェルカムレセプション[マロウドインターナショナルホテル成田]
【2月18日（火）】 10:30  13:30 15:30 18:00	鴨川シーワールド（見学） 昼食（鴨川市の地元の食材を使用した「おらが丼」） マザー牧場（いちご狩り体験） 商談会 [龍宮城スパ/ホテル三日月] 意見交換会・交流会
【2月19日（水）】 10:00	三井アウトレットパーク木更津 香港招へい者のレンタカー運転体験：アウトレット～海ほたる（見学・昼食） ※神奈川県側へ移動

#### [会員等の参画] 22 団体

(株)グランビスタホテル&リゾート（鴨川シーワールド）、京成電鉄(株)、(公財)航空科学博物館、(公社)千葉県観光物産協会、千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合、千葉県レンタカー協会、千葉テレビ放送(株)、(株)トヨタレンタリース新千葉、(株)トヨタレンタリース千葉、成田空港レンタカー協議会、成田国際空港(株)、大本山成田山新勝寺、成田地区ホテル業協会、(株)マザー牧場、三井不動産(株)、三菱地所・サイモン(株)、(株)メディアポート成田、千葉県、木更津市、成田市、鴨川市、千葉インバウンド促進協議会

#### [メディアへの露出]

□テレビ 千葉テレビ放送（2月17日）

※旅行系業界紙にも記事掲載有り。

#### [総括]

- 今回、ファミリー層向けの施設等を組み込んだコースを体験いただいたところ、招へい旅行者のアンケートでは、観光資源として好評であった。
- 香港からの訪日客は、リピーター率及び個人旅行の割合が高い傾向にある中で、着実に旅行商品の造成につなげるためには、継続した取組が重要である。
- レンタカーの使用については、外国人向けのドライブルートマップの充実や、ナビシステムの使い勝手の向上、ETCの対応、チャイルドシート使い方の説明が必要である旨の意見があり、今後の課題となった。

## ウ. ビジネスプロモーション

### 県企業誘致セミナーとの連携事業

平成 25 年 10 月 18 日（金）に都内の東海大学学友会館霞が関ビルにて開催された千葉県主催の企業誘致セミナーにおいて、協議会及び会員市町村内に所在する工業団地等のPRを行った。



会員パンフレット



セミナー参加者がパンフをみている様子

#### [展開]

- セミナーの一面にテーブルスペースを設け、会員市町 8 団体の工業団地、会員企業 5 社の PR を協議会にて実施。(セミナー参加者は製造業を中心に 185 名)

#### [会員の参画] 12 団体

- パンフレット及びノベルティの提供協力  
千葉県（ちばりサーチパーク、千葉富国生命ビル）  
佐倉市（ちばりサーチパーク）  
柏市（サイエンスパーク他市内の工業団地）  
東金市（千葉東テクノグリーンパーク）  
八街市（八街駅北側地区）  
南房総市（千倉・白浜・富浦の各用地）  
酒々井町（酒々井南部地区新産業団地、墨工業団地）  
御宿町（御宿西武グリーンタウン（店舗用地））  
成田国際空港(株)、アイベックスエアラインズ(株)、京成電鉄(株)、芝山鉄道(株)

#### [総括]

- 会員よりパンフレット及びノベルティの提供協力を得てブースを設け、PR 活動を行った。
- 次回以降については企画段階から参画できるようにであれば、検討したい。

## (2) 空港利用促進事業

### ア. 空港利用促進キャンペーン

# ますます 便利になる 成田空港に行ってみよう! スタンプラリーキャンペーン

成田空港の国際線に加え、近年充実している国内線ネットワークや圏央道等の道路網の拡充を含むアクセスの利便性を首都圏の自動車ユーザーに実感してもらうことを目的に、成田空港、Pasar 幕張（下り線）、酒々井プレミアムアウトレット、海ほたるパーキングエリア、三井アウトレットパーク木更津で、平成 26 年 2 月 22 日（土）から 3 月 22 日（土）までの 1 か月間、スタンプラリーを実施した。



Pasar 幕張



酒々井プレミアム・アウトレット



海ほたる PA



三井アウトレットパーク木更津

### [展開]

- 成田空港の航空ネットワーク・アクセス利便性がわかるPRパネル、会員のパンフ等を施設内に設置し、県内外からの施設来場者へのPRを実施。
- 上記施設に設置されたスタンプを2箇所以上（空港必須）押印のうえ応募すると、抽選で航空券等が当たるスタンプラリーを展開(600名超の参加者有り)
- 休日には、マスコットキャラクターによる撮影会や空港駐車場無料券の配布、会員提供ノベルティが当たるイベントを関係会員とともに実施。



マスコットキャラクターとの撮影会



ノベルティが当たるイベント

**[会員参画]** 22 団体

アイベックスエアラインズ(株)、ジェットスター・ジャパン(株)、全日本空輸(株)、日本航空(株)、京成バス(株)、小湊鉄道(株)、千葉県レンタカー協会、千葉交通(株)、(株)千葉交タクシー、日東交通(株)、ビー・トランセホールディングス(株)、東日本高速道路(株)、三井不動産(株)、三菱地所・サイモン(株)、航空科学博物館、千葉テレビ放送(株)、(株)ベイエフエム、成田国際空港(株)、(株)メディアポート成田(株)グリーンポートエージェンシー、千葉県、木更津市

**[メディアへの露出]**

- 各種メディアを多用した事前告知、特設サイトの開設や「成田空港 Walker」(約 1 万 9 千部発行) の発行を行い、幅広い世代への情報提供を図った。
  - 雑誌 東京 Walker 2 月 25 日号 見開き 2 P
  - ラジオ ベイエフエム スポットCM40 本(期間中)、生中継(2 月 22 日)
  - テレビ 千葉テレビ放送(2 月 27 日)
  - 新聞 読売新聞首都圏版(2 月 18 日)  
千葉日報(3 月 4 日、8 日)



キャンペーンポスター



成田空港 Walker



特設サイト

**[総括]**

- 自動車ユーザー向けの本キャンペーンでは、航空利用及び県内観光の途中に立ち寄るパーキングエリアの特性がうまく絡み、そのPR効果は非常に高い。
- 成田空港に近い幕張や酒々井では、スタンプラリー参加者が全体の75%を占め、空港への引き込みが図れた。羽田空港に近い木更津や海ほたるでは協議会発行の情報紙「成田空港 Walker」が300部/日も手に取られるなど、成田空港の航空ネットワークやアクセスの利便性への高い関心が示された。

## イ. 空港内PRイベント



成田空港の利用者に対して、千葉の素材を活かしたスイーツのPRを通じて、食の宝庫である“ちばの魅力”や地域関連情報を発信することを目的に、成田空港第1ターミナル南ウイング4F国際線出発ロビーで、平成26年3月29日(土) 12:00~15:00にスイーツPR・無料試食イベントを実施した。



イベント会場の賑わい



出展ブース



マスコットキャラクター撮影会

### [展開]

- 出展会員10自治体(9市町と県)の特産食材等を使用した24種類のスイーツの試食、ディスプレイコーナーでの地域観光情報の発信などを行い、様々な国籍の出発旅客、近隣地域の方々、空港従業員など1,600人が来場。
- スイーツに加え、観光など地域情報を展示するとともに、出展団体の各マスコットキャラクター13体による“わがまち”PRも展開。空港展望デッキでは、イベント周知のためマスコットキャラクターが大集合。  
※本イベントは、成田、佐倉、八街の3市による事業提案をベースに企画。



マスコットキャラクターによる展望デッキでの呼び込み

[会員参画] 13 団体

銚子市、成田市、佐倉市、旭市、八街市、香取市、酒々井町、栄町、芝山町、横芝光町、千葉県、成田国際空港(株)、(株)メディアポート成田  
 ※その他、上記自治体会員内にある数多くのスイーツメーカーも参加。

[メディアへの露出状況]

- 特設サイトの開設、スイーツ販売情報パンフの製作に加え、PR 効果を高めるため、タウン情報誌（東京 Walker）への掲載や成田空港 Walker での紹介など、空港利用促進キャンペーンと連動した広報を展開。

- 雑誌 東京 Walker 2月25日号 見開き2P
- テレビ 成田ケーブルテレビ、ケーブルネット296
- 新聞 読売新聞千葉県版（3月30日）  
千葉日報（3月31日）



スイーツ詳細プログラム



特設サイト

[総括]

- マスコットキャラクターの人気と相まって、多くの空港利用者に各地域の特産品や地域の魅力を発信することができた。また、出展スイーツの入手先にアクセスできるよう販売店情報を協議会HPに掲載し、販促にも努めた。
- 今回の会場は、時間帯によって空港利用者の波がある国際線出発ロビーであったため、スイーツ数の予測やブースの展開に課題が残った。

### (3) 調査・広報事業

#### ア. 外客受入体制整備セミナー

## 第2回県内経済活性化ビジネスセミナー ～MICEとその魅力(基礎編)～

企業等の会議や研修旅行、国際会議や見本市などのビジネスイベントの総称である“MICE”について、その意義や経済効果を分かりやすく理解していただくために、会員等を対象としたビジネスセミナーを三井ガーデンホテル千葉にて、平成26年2月10日(月)に開催した。



コプチンスキィ氏による基調講演



パネルディスカッション

#### [展開]

- 本セミナーは、成田空港を擁するMICE開催地として、海外のMICE専門家(レイ・コプチンスキィ氏)から見たちばの魅力や、世界のMICE誘致動向に関する基調講演とMICEが大きなビジネスチャンス秘めていることについて誘致推進側、経済効果を楽しむ側、主催者側などそれぞれの立場によるパネルディスカッションの2部構成で実施。
- 併せて、講師、パネリストと会員間の交流促進を図るため、名刺交換会も実施した。

#### 《プログラム》

【基調講演】レイ・コプチンスキィ氏 「MICEの効果・千葉の魅力」

【パネルディスカッション】 「MICEをチャンスに」

コーディネーター 田部井正次郎氏 (城西国際大学講師)

パネリスト 内田 浩行氏 (観光庁 参事官)

葛 丈夫氏 (CCB MICE事業部長)

早川 康一氏 (千葉インバウンド促進協議会 会長)

レイ・コプチンスキィ氏 (MDRT会議サービス部長)

【交流会(名刺交換会)】

[企画・運営協力] 3 団体

ちば国際コンベンションビューロー、千葉インバウンド促進協議会、千葉県

[参加会員等] 72 団体（社）101 名

[メディアへの露出]

□新聞 産経新聞（2月12日）

[総括]

- 当初の応募者数が、160 名を超え、M I C E に対する関心が高いことが、わかった。（雪の影響で、当日の参加者は101名）
- 基調講演及びパネルディスカッションにおいて、4人のパネリストから、それぞれの立場（国・誘致機関・主催者・ホテル）で具体的なお話をいただき、M I C E が会員のより身近にあることが認識でき、参加会員及び傘下の会員がM I C E のイメージを理解できたことは、有意義であった。

## イ. ビジネスセミナー

### 第1回県内経済活性化ビジネスセミナー ～成田空港と圏央道の活用～

近年充実が図られている成田空港国内線の利用動向等に係る調査報告に加え、圏央道を活用した沿線自治体のビジネス支援事例も併せて紹介し、会員自らの事業活動の一助とするためのビジネスセミナーを茂原市役所にて平成26年2月3日（月）に開催した。



挨拶する石井会長



田中茂原市長のご挨拶



ちばぎん総研のプレゼン



茂原市のプレゼン



ジャパンディスプレイのプレゼン

#### [展開]

- 成田空港国内線利用動向等に係る調査の報告に加え、茂原市からの事業提案を取り入れ、成田空港及び圏央道の活用によるビジネス創出をテーマとして、進出企業や自治体の実際の事例紹介を併せて実施。
- 成田空港からバスに乗車し、圏央道の利用を通じて今後の発展可能性を体験するバスツアー、並びに、会員同士の交流促進をはかるための交歓会も開催した。

(平成 26 年 2 月 3 日)

時 間	プログラム
10:00～11:00	成田空港発圏央道利用体験バスツアー
11:30～13:00	ビジネスセミナー 【挨拶】 石井会長、田中茂原市長 【プレゼン第 1 部】 《成田空港活用協議会調査事業報告》 『成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者の動向』 （株）ちばぎん総研 小松受託調査部長・関同副部長 【プレゼン第 2 部】 《空港と圏央道の活用事例》 ① 『圏央道活用による茂原市の取り組み』 茂原市商工観光課 西ヶ谷課長 ② 『なぜ茂原市に進出したのか』 （株）ジャパンディスプレイ 引場工場長
13:00～14:00	交歓会



バスツアーで説明する小松経済活性化部会長



交歓会の様子

**[企画・運営協力] 7 団体**

茂原市、千葉テレビ放送(株)、小湊鉄道(株)、(株)ティエフケー、(株)ちばぎん総合研究所、成田国際空港(株)、千葉県

**[企画・運営協力] 70 団体 (社) 113 名**

**[メディアへの露出]**

□新聞 産経新聞 (2 月 4 日、10 日)、千葉日報 (2 月 10 日)

※その他、航空関係業界紙にも多数掲載有り

**[総括]**

- 成田空港と圏央道がもたらす地域経済への効果について、実際に地の利を生かして企業誘致に取り組む側と進出企業側の事例を共有できたことは意義深い。
- 圏央道体験ツアーでは成田空港—松尾横芝間などの未開通区間が今後開通することによる利便性向上を肌で感じることができた。
- 今回のセミナーでは、交換会も含め、事例や実地の体験に基づく Face to Face での人と人とのつながりが、ビジネス・事業を動かしていくことを再認識した。

## ウ. 航空旅客利用動向調査

### 成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査

千葉県内の観光・産業振興に活用する基礎資料とするため、成田空港の国内線の利用動向や国内線を利用した千葉県への来訪状況、成田空港のアクセス利用状況などについてインターネット調査を通じて、平成25年10月に実施した。

#### [展開]

- 全国15歳以上の男女5,500人（うち県民1,100人）を対象に、インターネットによるウェブ・アンケート調査を平成25年10月12日～13日の期間で実施。
- 調査結果の分析及び提言等については平成26年2月3日に開催した第1回県内経済活性化ビジネスセミナーにて公表。

#### ◆◆◆調査結果要旨（一部抜粋）◆◆◆

##### 《成田空港国内線の利用動向》

- 利用目的は、観光が8割、ビジネスが2割。成田空港国内線利用者の目的地のトップ5は、北海道、沖縄県、海外（乗継）、大阪府、東京都。
- 成田空港国内線の利用満足度は3人中2人が満足と回答。満足な理由は、「空港と目的地（または自宅）のアクセスが良かった」がトップ。
- 同行者は家族が約5割。個人での旅行・観光は「家族」、ビジネスは「1人」、その他（修学旅行等）は「団体」がそれぞれ5割前後と多い。
- 成田空港国内線の未利用者の約5割が将来的に利用したいと回答。
- 将来利用する意向のある航空会社はFSAとLCCが3割台半ばで拮抗。
- 成田空港国内線に占めるLCC利用者のシェアは15.0%。
- LCCは「首都圏」と「国内線就航地」の居住者の利用が多い。LCCの利用シェアは、首都圏では、千葉県、国内線就航地では愛媛県が最多。
- 成田空港国内線の未利用者のうち将来的に「とても利用したい」と答えたもののうち、LCCを利用したい意向は約6割と最も多い。

##### 《千葉県への来県者動向》

- 千葉県を目的地とした成田空港国内線の利用は約5%。
- 宿泊施設や観光施設・名所旧跡、料理・特産品の順に満足度が高い。
- 再訪意向は約9割で来訪時の満足度の高さに比例している。イベント・体験や料理・特産品に満足した人の再訪意向が強い。
- 来訪市町村のトップ5は、千葉市、浦安市、成田市、船橋市、銚子市。
- 宿泊市町村のトップ5は、千葉市、浦安市、成田市、銚子市、船橋市。
- 訪問目的（トップ3）は「テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり」、「友人・知人宅の訪問」、「おいしいものを食べる」。
- 観光客の宿泊を伴う来訪は約9割。LCC利用者の旅程は、「4日（3泊4日）以上」が約4割で最多。

### ◀成田空港までのアクセス（２次交通）の利用状況▶

- 成田空港までのアクセス（２次交通）はＪＲと京成が３割前後で拮抗している。
- ２次交通の満足度は、「満足」が約６割、「どちらでもない」が約３割、「不満」は１割未満となっている。
- 北関東在住者（群馬県・栃木県・茨城県）の満足度が７～８割と高い。１都３県（千葉県・東京都・神奈川県・埼玉県）の満足度は、「千葉県（63.1%）」と「東京都（34.6%）」で開きがみられる。
- 圏央道の認知度は約５割、東京湾アクアラインの認知度は約７割。圏央道及び東京湾アクアラインを認知している人の方が利用割合は多い。
- 格安バスの認知度は約３割で、利用割合は５.５％となっている。格安バスを将来的に利用したい意向は約８割。

### [メディアへの露出]

- 新聞 時事通信（２月３日）、産経新聞（２月４日）、日経新聞（２月４日）  
千葉日報（２月６日）、読売新聞（２月８日）  
千葉日報（２月１０日）、東京新聞（３月２５日）  
※その他、航空関係業界紙にも多数掲載有り

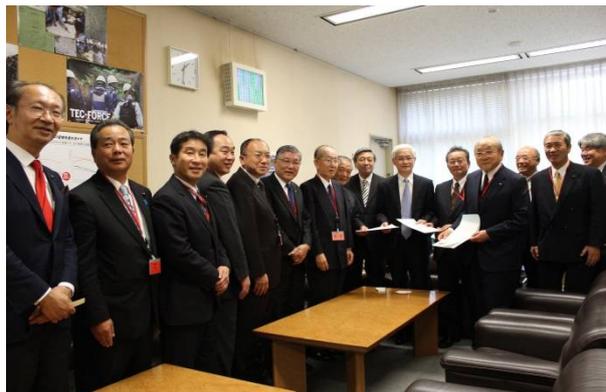
### [総括]

- 本調査結果は、国内線就航先プロモーションや空港利用促進キャンペーンなど今後の協議会事業の検討過程において参考資料となるだけでなく、観光や産業など会員の事業展開・ビジネス展開の基礎となるデータとして有効に活用できるものと期待される。
- 近年、ＬＣＣの就航などで成田空港の国内線が急速に拡大している中で、国内線の認知度が決して高いとは言えない状況がある一方で、国内線未利用者の将来的な利用意向が非常に高いといったデータから、大きな潜在需要があると思われる。協議会としては、こうした潜在需要の取り込むため、今後、積極的なプロモーション活動等に取り組み、さらなる航空利用者増を目指していく必要があると考える。

#### (4) 要望活動

### 首都圏中央連絡自動車道建設促進に関する要望について

発着容量30万回化で高まる成田空港のポテンシャルを県全体に波及させるためには、交通網の整備が極めて重要であることから、その基幹インフラとなる首都圏中央連絡自動車道の県内未開通区間の早期整備等について、県内関係3団体とともに平成25年11月22日（金）に国に対して要望活動を実施した。



要望活動の様子

#### [展開]

- 本協議会会長を要望者として、県内関係3団体（首都圏中央連絡自動車道促進期成同盟会、千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟、首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議）とともに、国に対して要望活動を実施。

#### 《要望内容》

- 一日も早い全線開通を図ること。
  - ・ 開通目標が平成25年度の茨城県稲敷から神崎間、平成26年度の神崎から大栄間について、着実に事業を進めること。
  - ・ 大栄から横芝間について、早期に用地取得に着手し、事業を進めること。
- 圏央道をはじめ、必要な道路整備予算の総額を十分に確保すること。

#### 《要望先》

太田国土交通大臣、野上国土交通副大臣、中原国土交通政務官、国土交通事務次官、国土交通省道路局長ほか国土交通省幹部職員  
県選出国會議員

#### [メディアへの露出]

□新聞 千葉日報（11月23日）

## (5) 平成 25 年度における会員からの提案事業

- 空港を活用した事業展開についてのアイデアを募り、会員の連携・協働による事業展開をサポートすることで、これまで企業・団体単独では取り組むことが困難であった事業等を事業化につなげることを目的として募集した。

《募集期間》 平成 25 年 9 月 9 日（月）～10 月 4 日（金）（12 月末まで延長）

《提案事業の状況》

○具体的事業の提案件数 総数 42 件（提案会員数 18）

① 空港内 P R イベント	4 件
② 空港利用促進・観光キャンペーン	9 件
③ 県内誘客・周遊ツアー	10 件
④ 地域振興（産業、農産品、工芸品等の P R を含む）	5 件
⑤ 交流イベント（スポーツ、地域間等）	4 件
⑥ 教育関連	3 件
⑦ その他	7 件

○自由意見件数 総数 16 件（提案会員数 12）

《提案事業の取扱方針》

- ① 提案事業のアイデア等を協議会事業に積極的に取り込んでいく。
- ② 提案会員の了承を前提として、具体的な事業提案の概要を協議会のホームページの会員専用ページに掲載するなどし、会員同士のビジネスマッチングや連携・協働の取組を促進する。

## (6) 広報活動

- 設立総会や運営説明会、各種事業の実施にあたっては、県政記者会をはじめとする関係記者クラブ等に対し積極的にプレスリリースを実施するとともに、協議会ホームページやツイッターを活用した会員への情報提供、新聞、テレビ、ラジオなど報道関係者への情報提供を行った。
- また、協議会の認知度向上のため、各種メディアへの広告等の掲載のほか、情報誌、協議会パンフレット・ポスター・ノベルティ等を作成し、プロモーションやセミナー等において配布した。

《プレスリリース実績》

（平成 25 年）

- 7 月 31 日 「成田空港活用協議会設立総会の開催結果」
- 9 月 4 日 「成田空港活用協議会運営説明会の開催」
- 10 月 15 日 「国内線就航先（札幌）プロモーションの実施」
- 10 月 31 日 「国内線就航先（札幌）プロモーション実施結果」
- 11 月 22 日 「首都圏中央連絡自動車道の建設促進に関する要望活動の実施」

(平成 26 年)

- 1 月 27 日 「県内経済活性化ビジネスセミナー 2 週連続開催！！」
- 2 月 3 日 「成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査の実施」
- 2 月 13 日 「レンタカーを活用した香港プロモーション事業の実施」
- 2 月 17 日 「ますます便利になる成田空港に行ってみよう！スタンプラリーキャンペーン」
- 3 月 4 日 「国内線就航先（札幌）プロモーション第 2 弾の実施」
- 3 月 24 日 「Chiba Sweets Collection in Narita Airport～ちばの恵みのスイーツがいっぱい～」

《 広告等掲載実績 》

(平成 25 年)

- 11 月 1 日 ちばぎん総研会員向け情報誌（協議会の紹介）

(平成 26 年)

- 2 月 14 日～3 月 22 日 ベイエフエム（利用促進キャンペーン告知）
- 2 月 18 日 読売新聞（利用促進キャンペーン告知）
- 2 月 25 日 東京 Walker（利用促進キャンペーン告知）
- 2 月 27 日 千葉テレビ放送（利用促進キャンペーン告知）
- 2 月 28 日 日刊工業新聞（協議会の紹介）
- 3 月 4 日、3 月 8 日 千葉日報（協議会の紹介、国内線ネットワーク等）

《 P R 媒体等の制作 》

- 協議会パンフレット 1,000 部
- 協議会ポスター 500 部
- 利用促進キャンペーンポスター 100 部
- 空港内 P R イベント来場者用チラシ 1,000 部
- 成田空港 Walker 20,000 部
- イベント・キャンペーン配布用ノベルティ（付箋付きマーカー）3,000 個



パンフ、ポスター



空港内 P R イベントチラシ



協議会ノベルティ